

☆☆☆ 朝 礼 講 話 ☆☆☆

10月19日 (月)

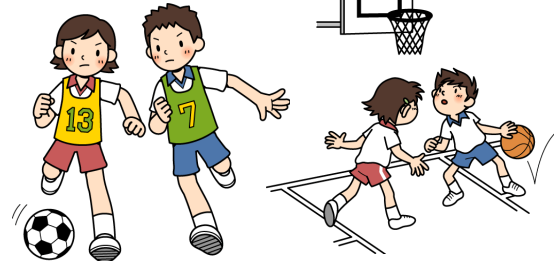
『 チーム 』

講話 校長



先週、サッカー・バスケットボールの競技会があったので、それに関係したお話をします。

サッカーは、1チーム何人ですか？ そうです、11人です。では、バスケットボールは何人ですか？ そうです、5人ですね。サッカーとバスケットボールでは人数が違います。どちらもチームで行うということと同じです。



この『チームで行う』というのは、スポーツばかりではありません。学校でも『学級』というチームで行っています。その中ではもっと人数を減らして『班』というチームで行うこともたくさんあります。逆に、運動会など『全校』というもっと人数が多くなったチームで行うこともあります。



では、この『チーム』で行う良さは何でしょう。いくつか思いついたものを出してみます。

- ①みんなの力を合わせるので、大きな力になる。
- ②一人一人得意なことが違うので、いろいろなことができる。
- ③いろいろな考えやアイデアを出すことができる。
- ④失敗してもフォロー（助け）がある。
- ⑤勇気、やる気が出てくる。
- ⑥みんなでやると楽しい。

探すとまだまだいっぱい出てきそうですね。こうして、チームで協力することで勉強でも普段の生活でもできないことがどんどんできるようになり、楽しく元気になります。



ただし、チームとして取り組むためには心がけなければならないこともあります。一人だけでやっているのではなく、周りにはチームの仲間がいます。だから、自分のことだけ考えているだけではいけません。「チームの中で自分はどうのようにがんばるとよいのだろう」「自分がこう言ったりやったりすることで、仲間はどうか感じるだろう」など、周りの仲間の事も考えなければいけません。一言で言えば『思いやり』です。これを大切にして、勉強、運動、係や掃除などの仕事、放課の遊びなど学校生活すべて、『チーム』として協力して、元気に楽しく取り組んでいきましょう。



観劇会

20日(火)は、京都から「すわらじ劇園」に来ていただき、童話の王様シリーズで有名な寺村輝夫原作の『てんぐのろくべえ』を鑑賞しました。ところどころに笑いをまじえながらの劇団の方の熱演に、低学年から高学年まで引き込まれ楽しく鑑賞しながら、このお話のテーマである『正直』について考えることができました。

また、登場人物の表情や動き、せりふの言い回しなど、学芸会に向けてのいい勉強の場にもなりました。

